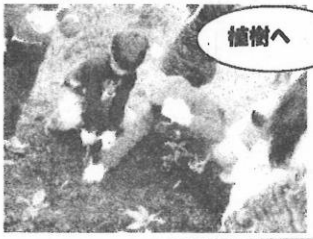
横浜市立深谷台小学校　３年１組　学級通信「ありがと！」より　平成 26 年 3 月 14 日

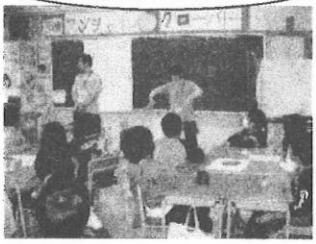
いのちの森づくり～植樹祭～

木曜日、社会福祉法人進和学園しんわルネッサンスの遠山さん、進和学園いのちの森づくりプロジェクトリーダー川下さんを迎えて、里山にクラスの「シラカシ」と、購入したコナラ、シラカシ、アラカシ、タブノキ、スダジイ、アカガシを里山に植える活動をしました。雨が強くなると言うことで、急遽４時間目に植樹を行い、５時間目はいのちの森についてお話をしていただきました。話が始まると、メモを取りたい、教えていただいたことを覚えたいと思ったのか、子ども達は自然とメモを取り始めました。昔は緑の多い戸塚が、今はほとんど緑がなくなっている地図を見て、子ども達は愕然としていました。森のワークショップをすると、感じたことをそれぞれの班が画用紙に書き、感じたことを発表しました。１年間の里山活動を劇にした、里山ＪＯＹの話を子ども達がすると、「ぜひ見せてください。」と言うことになり、これまた急遽クラスで里山ＪＯＹの劇をやりました。講師のお二方も大変感激してくださり、素直に受け答えをし、真剣に話を聞いている子ども達の事を、「心の指数がなんと高い人たちなんでしょう。」とおっしゃってくださいました。今回の学習が、総合学習のまとめです。この「いのちをつなぐ森づくり」から、子ども達は自然と共生していくことの大切さを学んだことでしょう。ぜひ、この学習を忘れず、次の学年でも活かして欲しいと願います。

木の博士の説明



木の博士の説明　２



みんなの前で代表が森について発表